

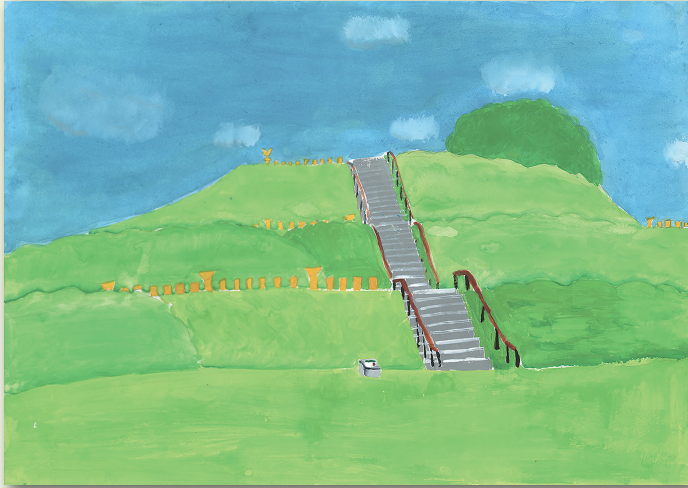


# スクール ぎゃらりー

今月は

長岡第八小学校の

ステキな作品をご紹介します!



## いつもの風景

ながしろ あおい  
5年生 長代 葵さん

毎日見る大好きな景色を表したいと思い、このテーマを選びました。こだわったところは、草の色です。濃淡をつけて色の違いを表しました。



## 海と夕日の思い出

しがなぎさ  
5年生 志賀 凧紗さん

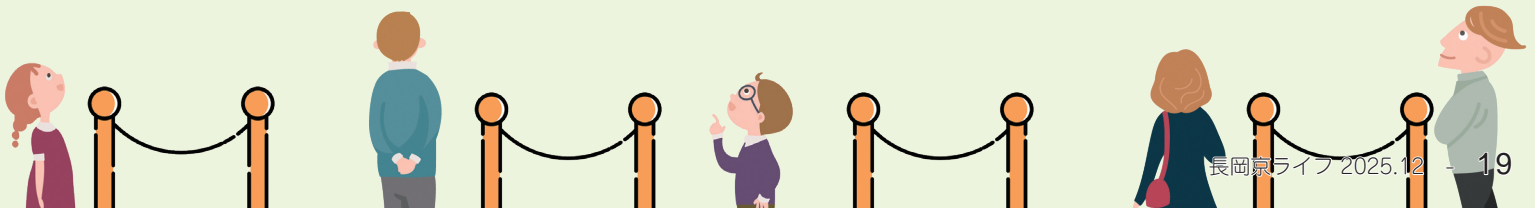
海や空に光やかげをかくときに色あいをたしかめながら色ぬりをしました。人や、ブランコのバランスをとりながらかくところがむずかしかったです。



## 光輝く 須磨の海

すがはら ななみ  
5年生 菅原 七海さん

工夫した所は、波がゆらゆらゆれているように表現したかったので、ただ色をぬるだけではなく、波のように「くねくね」を意識してかいたことです。







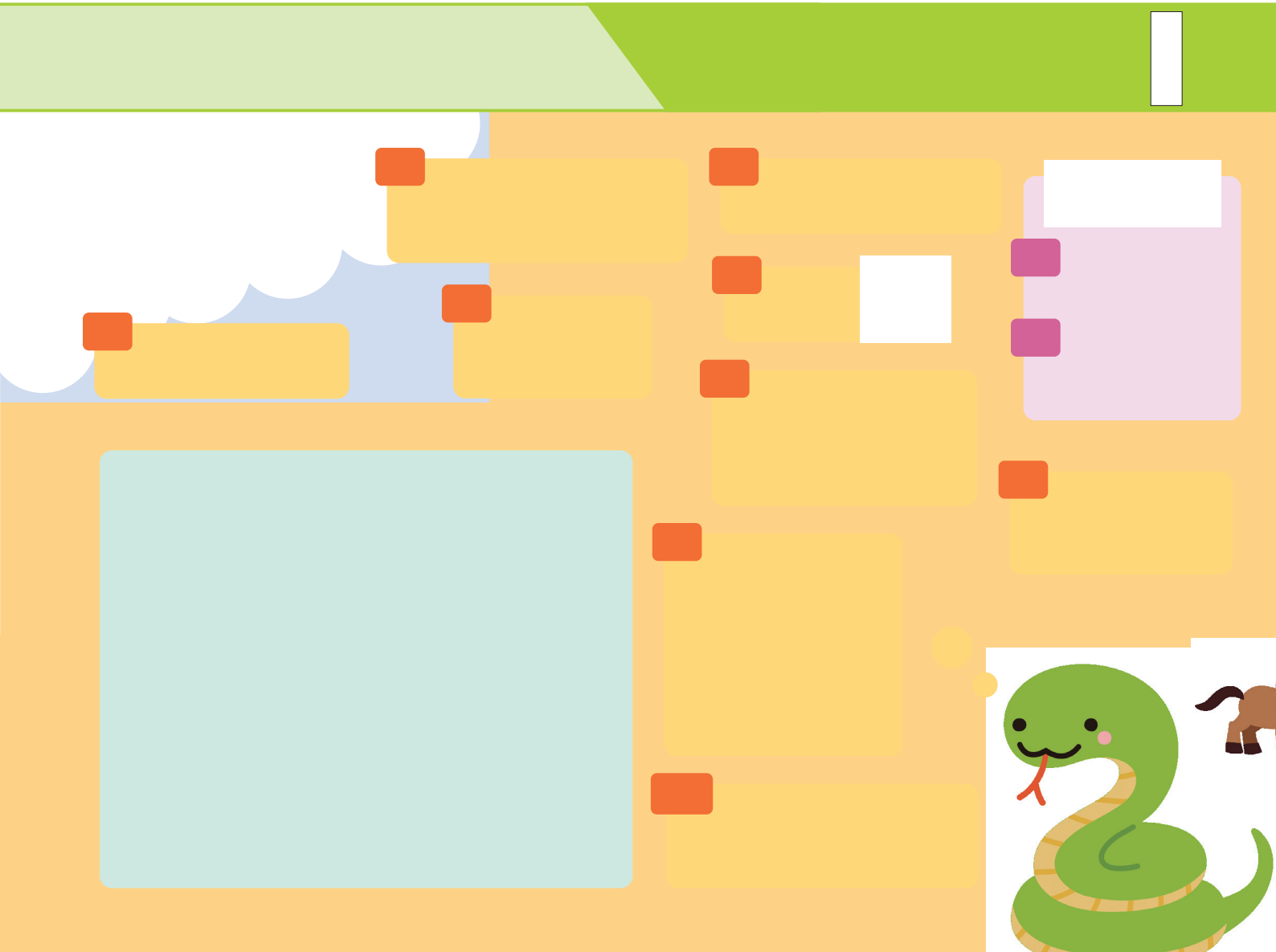












# 長岡京の きらり


いいひと・もの・こと  
みつけたっ

長岡京のことが大好きな市民ライターが、市内できらりと輝く、ステキなひと・もの・ことを紹介するコーナーです。今回は、洋菓子を通してまちの人の笑顔と幸せを作り出す“きらりさん”を紹介します♪

過去の記事は市HPに掲載中！



【今月の担当】 はら まいこ  
原 舞衣子  
長岡京歴30年超。おいしいものとワクワクを追いかけています。



## vol.32 洋菓子を通して、 “幸せの連鎖”を周りの人へ届けたい

食べた人が笑顔になる——。そんな幸せの瞬間を何より大切にしているのが、洋菓子店 パティスリー ポリー pâtisserie Poli のオーナー、野村優佑さん。店名の“poli”はフランス語で「丁寧」という意味。その言葉どおり、素材選びから盛り付け、テイクアウトした箱を開ける瞬間まで見据えて、全てに心を込めています。

大阪で長く修業を重ね、2025年4月、幼い頃から親しんできた長岡京の地で念願の店をオープン。それからずっと、野村さんは日々試行錯誤を続けています。「まだまだ分からないことも多い。でも、難しいからこそ面白い、考えるからこそ楽しい」と語るその表情は、家族や友人に料理を振る舞うことが大好きだった少年のまま。真つぐな優しさがにじんでいます。

お菓子作りの奥深さを楽しみながら、丁寧に積み重ね



▲新作の焼き菓子が並ぶと、あっという間に売り切れてしまうことも



▲ショーケースに並ぶケーキが、季節の訪れを知らせてくれます



今月の  
きらりさん  
のむら ゆうすけ  
野村 優佑さん

る毎日。季節ごとに変わるケーキや、地域のイベントにも積極的に取り組み、店は少しずつまちに溶け込んでいます。「まずは地域に密着した店にしたい」と野村さん。「長岡京を代表する洋菓子店の一つとして、地元の人に喜んでもらえる存在になれば」と語ります。テイクアウトだけでなく、ゆっくりと過ごせるカフェもいつかオープンさせたいそうです。

「食べる人も、作る自分も笑顔でいられるって、とっても幸せなことだと思っているんです」。幸せな空間で生まれたケーキが、それぞれの家庭で笑顔を咲かせる——。野村さんは、そんな“幸せの連鎖”をそっと生み出す人です。

### きらりさん 自慢のお店



パティスリー ポリー  
pâtisserie Poli

### 野村さんにお店のオススメポイントを聞きました！

定番のケーキから、ひと味違う個性派までそろえています。どれも味はもちろん、見た目の美しさにも心がときめくはず！ 12月19日(金)まで、クリスマスケーキの予約も受付中です。

📍開田4-1-1 ほりいけビル1階 ☎950-3503  
ⓐ午前10時～午後6時 ⓑ定休、不定休  
\*駐車場はありません。



### お店からのプレゼント



焼き菓子詰め合わせ

応募方法は23ページへ

